

**長崎県総合計画 チャレンジ2020
令和元年度の数値目標の進捗状況（概要版）**

企画部 政策企画課

目次

1 総合計画の実現に向けた基本姿勢.....	1
2 数値目標の全体の進捗状況.....	1
3 基本戦略別の進捗状況.....	3
4 政策横断プロジェクトに掲げる数値目標の進捗状況	8
5 地域別計画に掲げる数値目標の進捗状況.....	11
6 今後の取組方針の検討等について	16

1 総合計画の実現に向けた基本姿勢

長崎県総合計画 チャレンジ 2020(計画期間:平成 28 年度～令和2年度)については、県民の理解と信頼を深めるため、適切な数値目標を設定し、毎年の進捗状況を検証するとともに、政策評価などを通じた計画の進捗管理を実施し、その結果を分かりやすく公表することとしています。

2 数値目標の全体の進捗状況

長崎県総合計画 チャレンジ 2020 に掲げる数値目標は以下のとおりです。

体系		指標	備考
将来像	5 将来像	7 指標 (重要指標)	各将来像について、県民一人ひとりが計画の成果や効果を具体的にイメージできる指標として設定されたもの
施策	43 施策	60 指標	基本理念と将来像の実現に向けて掲げる 10 の基本戦略を構成する 43 の施策ごとに設定した成果指標
事業群	178 事業群	190 指標	43 の施策を構成する 178 の事業群に設定した数値目標
政策横断プロジェクト	6 プロジェクト	9 指標	長崎県の強みを活かした長崎ならではの取組を横断的に展開するプロジェクトに掲げた数値目標
地域別計画	7 地域	23 指標	各地域のめざす姿として設定した数値目標

このうち、5 つの将来像における「重要指標」の状況については、「県内高校生の県内就職率」は概ね順調に推移しているものの、「県内大学生の県内就職率」や「地域内で支えあいを実施できていると感じている人の割合」など基準値を下回っている指標もあり、達成に向けてより一層の施策の推進と充実と強化が必要です。

将来像	重要指標	基準値	R1	最終目標
交流でにぎわう長崎県	観光客延べ数	3,375万人 (H26年)	算定中	3,993万人 (R2年)
地域のみんなが支えあう長崎県	地域内で支えあいを実施できていると感じている人の割合	65.0% (H27年度)	62.5%	75.0% (R2年度)
	社会活動に参加している人の割合	27.7% (H27年度)	22.7%	40.0% (R2年度)
次代を担う『人財』豊かな長崎県	県内大学生の県内就職率	44.9% (H26年度)	37.8%	55% (R2年度)
	県内高校生の県内就職率	57.7% (H26年度)	65.6%	65% (R2年度)
力強い産業を創造する長崎県	県民所得	—	557億円増加 (H29)	R2年度までの5年間で総額を1,028億円増加
安心快適な暮らし広がる長崎県	安心快適指標	全国6位 (H27年度)	—	全国1位 (R2年度)

また、「施策の成果指標」、「事業群の指標」をあわせた 250 項目の数値目標のうち、施策と事業群の指標が重複しているものや令和元年度の目標値を設定していないものなど 63 項目を除く 187 項目の達成状況は、目標を達成したものが 100 項目 (53%)、目標を達成できなかったものの改善傾向にあるもの (やや遅れ) が 50 項目 (27%)、目標を達成できず今後の達成に課題があると考えられるもの (遅れ) が 37 項目 (20%) となっており、平成 30 年度の達成状況 (達成・順調: 59%、やや遅れ: 24%、遅れ: 18%) と比べ、目標を達成した割合が少なくなっております。

各数値目標別に見ると、「新型コロナウイルスや国際情勢の影響を受けて目標値を達成することができなかったもの」があり、例えば長崎空港の利用者数については、これまで好調に推移してきたものの、令和元年度については新型コロナウイルスの影響や香港の民主化デモ等の影響を受け目標達成に至りませんでした。また、家庭教育支援のためのながさきファミリープログラムの実施数についても、年度末にかけ新型コロナウイルスの影響によりプログラムが実施できない状況となり、目標達成に至りませんでした。

その様なことも要因の一つとなり、令和元年度の数値目標の進捗状況は「達成・順調」が平成 30 年度より減少しておりますが、「やや遅れ」とした 50 項目の指標のうち、36 項目 (72%) については、令和元年度の目標値に対し実績値が 90% 以上の水準に到達しております。

一方で、実績が基準値を下回る、あるいは目標 70% 未満となっているものも約 2 割あることから、今回の検証の結果を踏まえ、最終目標の達成に向けて取組を強化していく必要があると考えます。

将来像	数値目標数	評価可能数値目標数	達成・順調	やや遅れ	遅れ
交流でにぎわう長崎県	39	29 (74%)	17 (59%)	5 (17%)	7 (24%)
地域みんなが支えあう長崎県	43	36 (84%)	18 (50%)	12 (33%)	6 (17%)
次代を担う『人財』豊かな長崎県	53	42 (79%)	14 (33%)	17 (40%)	11 (26%)
力強い産業を創造する長崎県	50	28 (56%)	21 (75%)	6 (21%)	1 (4%)
安心快適な暮らし広がる長崎県	65	52 (80%)	30 (58%)	10 (19%)	12 (23%)
合 計	250	187 (75%)	100 (53%)	50 (27%)	37 (20%)

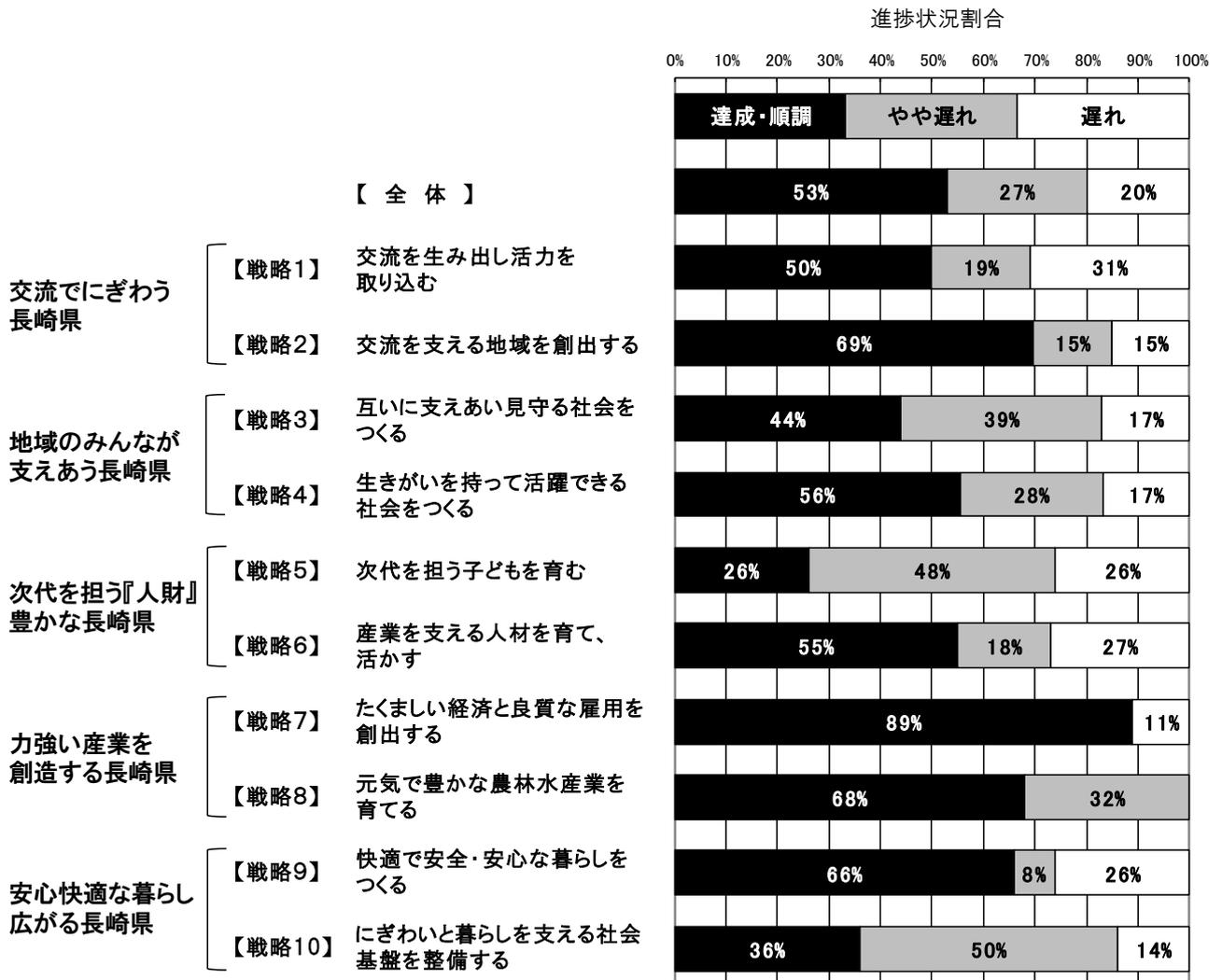
※各数値は四捨五入による端数処理のため内数の合計が 100%にならない場合があります。以下同様。
 ◆「達成」…最終年度の目標値を既に現時点で達成したもの (累計ベースの指標のみ該当)
 ◆「順調」…令和元年度の目標値を達成したもの (「達成」に該当するものを除く)
 ◆「やや遅れ」…令和元年度の目標を達成できなかったが、基準値と比較すると改善傾向にあり、かつ、目標値に対する実績値の割合が 70% 以上のもの
 ◆「遅れ」…令和元年度の目標を達成できず、基準値よりも実績値が悪化したもの。または、目標値に対する実績値の割合が 70% 未満のもの

3 基本戦略別の進捗状況

将来像の実現に向けて掲げる 10 の基本戦略別の進捗状況(図 1)を達成項目数の割合で見ると、戦略 7「たくましい経済と良質な雇用を創出する」が最も高く(89%)、次いで戦略 2「交流を支える地域を創出する」(69%)、戦略8「元気で豊かな農林水産業を育てる」(68%)の順となっています。

一方、達成項目数の割合が低いものは、戦略5「次代を担う子どもを育む」(26%)が最も低く、次いで戦略 10「にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する」(36%)、戦略 3「互いに支えあい見守る社会をつくる」(44%)の順となっています。

(図1)数値目標の基本戦略別進捗状況(令和元年度)



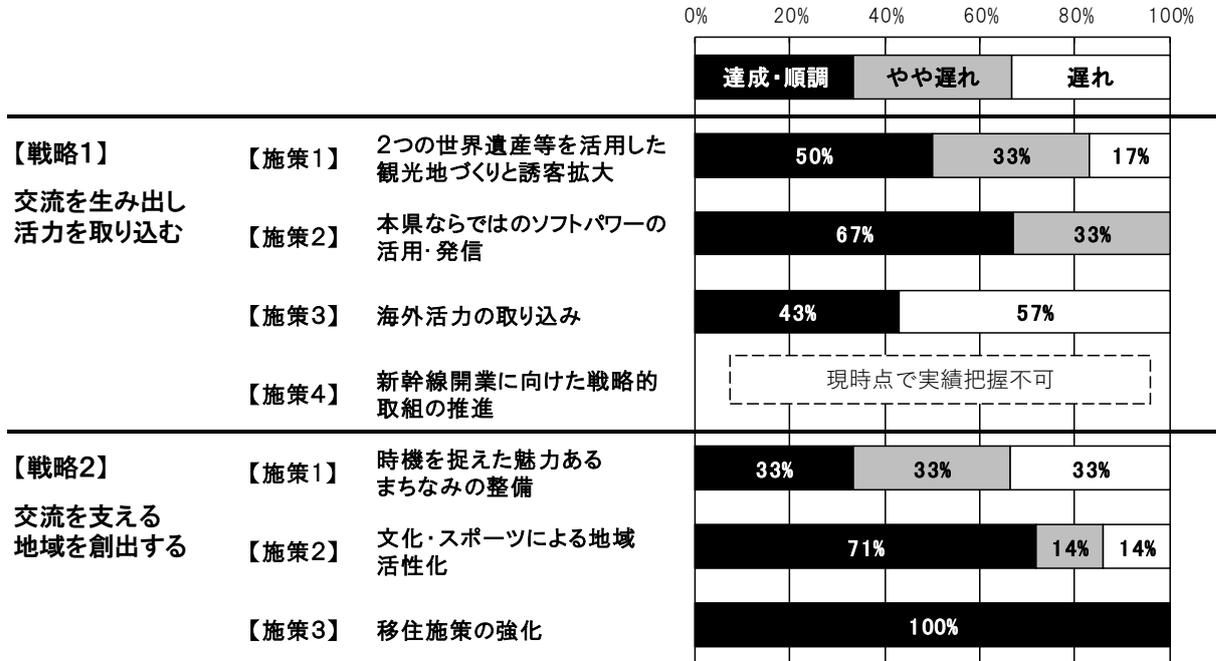
※各グラフは四捨五入による端数処理のため内数の合計が100%にならない場合があります。以下同様。

(図2)数値目標の施策別進捗状況(令和元年度)

【1 交流でにぎわう長崎県】

○戦略1は、施策「海外活力の取り込み」等の指標の一部に遅れが見られる。

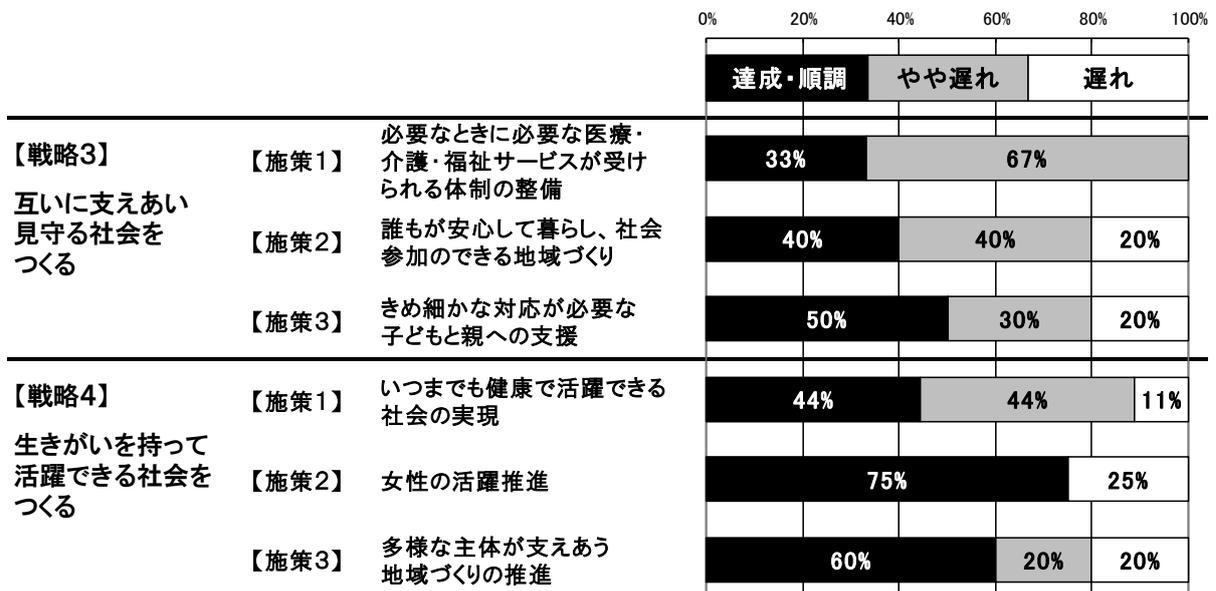
○戦略2は、全体としては順調な指標が多いが、施策「時機を捉えた魅力あるまちなみの整備」等の一部の指標に遅れが見られる。



【2 地域のみんが支えあう長崎県】

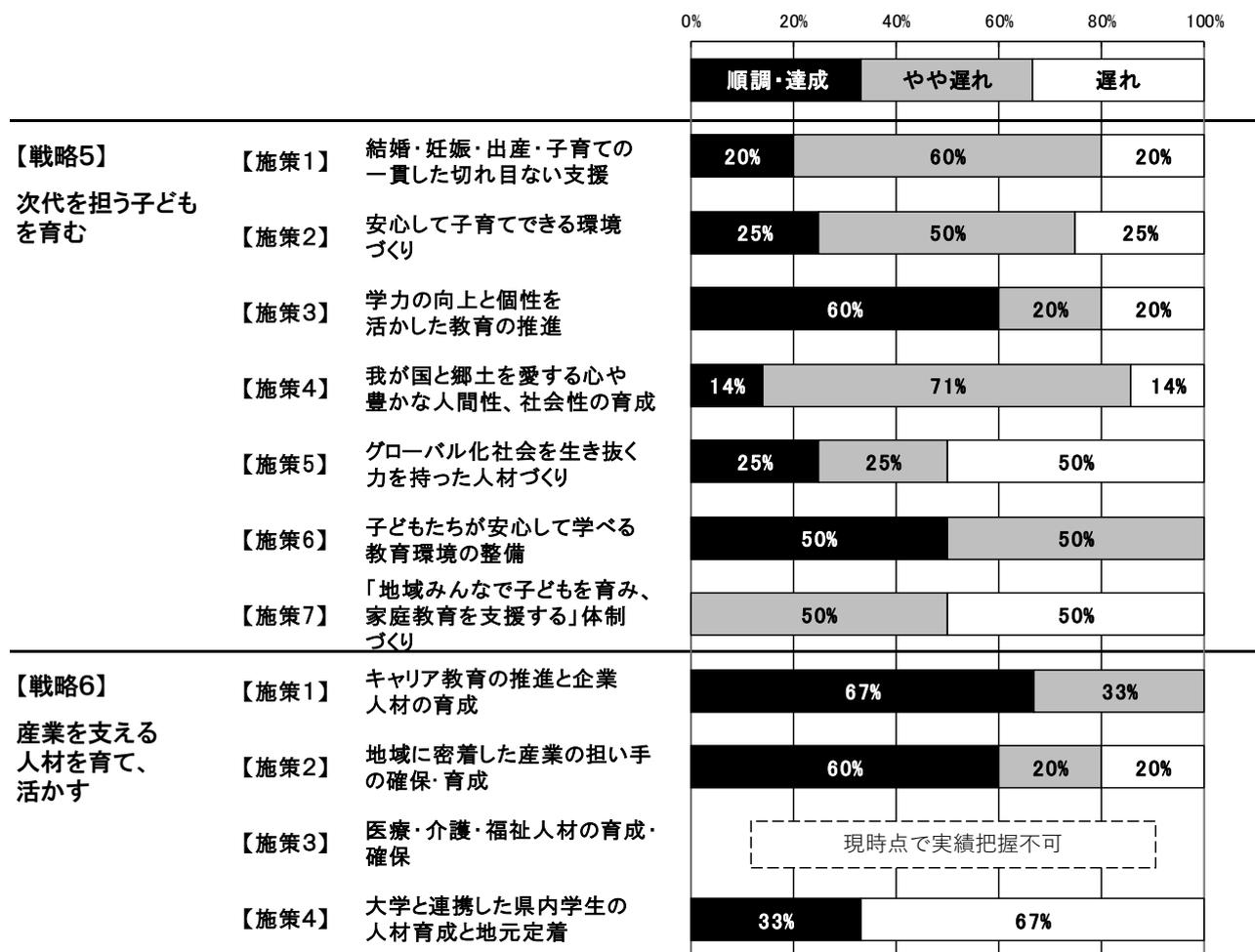
○戦略3は、施策「誰もが安心して暮らし、社会参加のできる地域づくり」等の指標の一部に遅れが見られる。

○戦略4は、施策「女性の活躍推進」等の指標の一部に遅れが見られる。



【3 次代を担う『人財』豊かな長崎県】

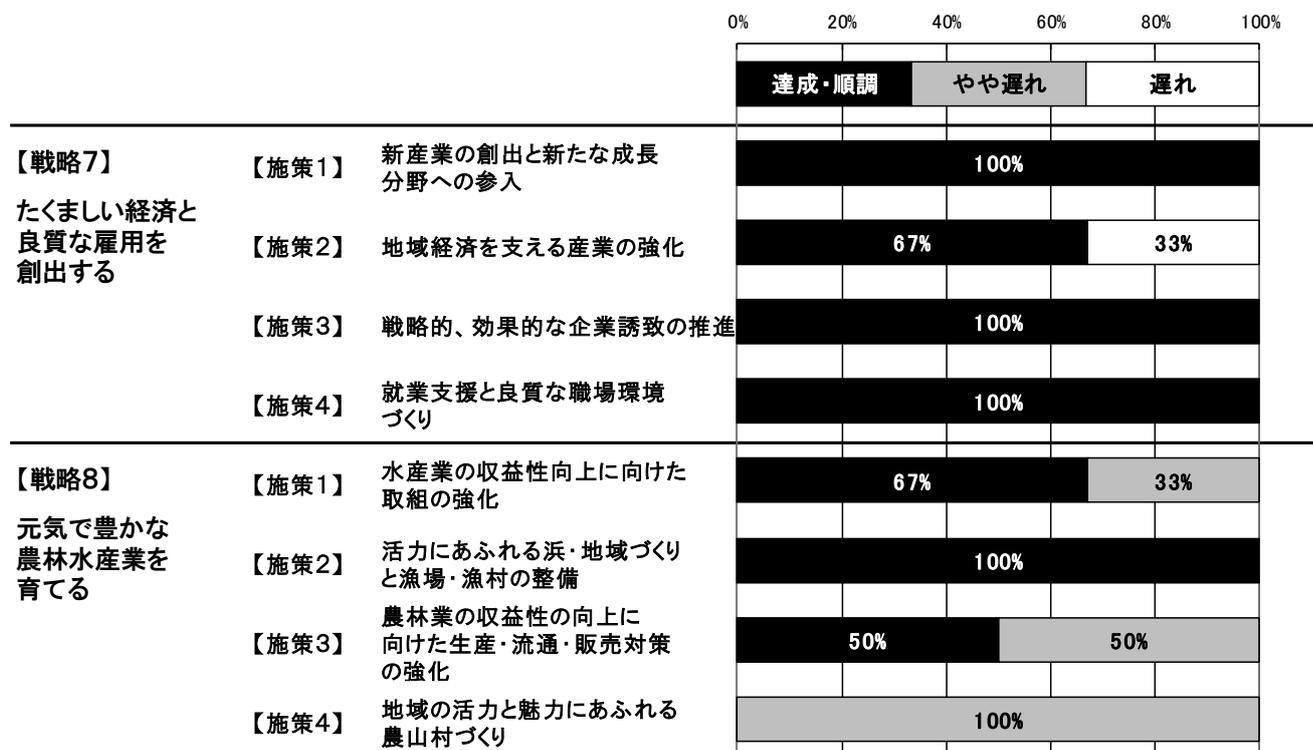
- 全将来像の中で最も達成・順調となった指標が少ない(目標達成指標割合:33%)。
- 戦略5が全体的に遅れている。特に施策の「グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり」、「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」体制づくり等の指標で目標達成できていない指標が多い。
- 戦略6の施策「キャリア教育の推進と企業人材の育成」については、「県内高校生の県内就職率」が目標を達成している一方で「大学と連携した県内学生の人材育成と地元定着」については、「県内大学生の県内就職率」等が目標を達成できていない。



【4 力強い産業を創造する長崎県】

○実績が把握できない指標が多いものの、現時点では戦略7及び戦略8ともに、概ね順調に推移している。

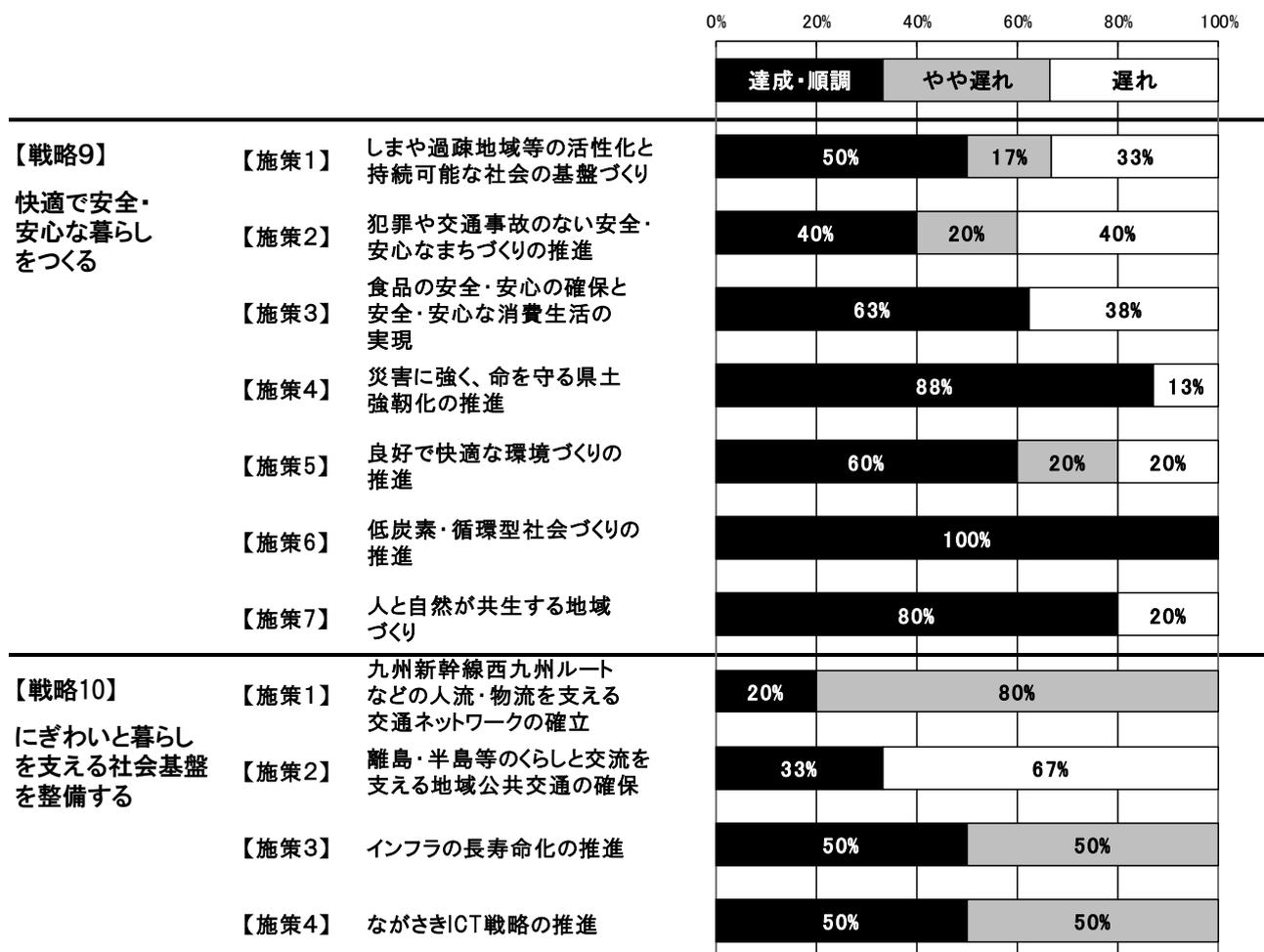
○特に戦略7の施策「新産業の創出と新たな成長分野への参入」、「戦略的、効果的な企業誘致の推進」、「就業支援と良質な職場環境づくり」、戦略8の施策「活力にあふれる浜・地域づくりと漁場・漁村の整備」が順調に目標を達成している。



【5 安心快適な暮らし広がる長崎県】

○遅れている施策は、戦略9の施策「犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進」や、戦略10の施策「離島・半島等のくらしと交流を支える地域公共交通の確保」である。

○「過疎地域等の人口減少率(社会減)」や「半島地域の人口減少率(社会減)」の指標は、依然として厳しい実績となっている。



4 政策横断プロジェクトに掲げる数値目標の進捗状況

部局横断的に取り組む6つの政策横断プロジェクトに掲げる数値目標の進捗状況は表1のとおりです。

政策横断プロジェクトとしては、プロジェクト別に見ると、「『しまは日本の宝』戦略」、「ナガサキ・グリーンイノベーション戦略」、「新幹線プロジェクト」が順調である一方、その他のプロジェクトにおいては、一部数値目標の進捗に遅れがみられます。

(表1)政策横断プロジェクトの進捗状況(令和元年度)

政策横断プロジェクト	『しまは日本の宝』戦略						
数値目標	しまの人口の減少率(社会減)						
◆現在までの進捗状況							
	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		0.70%	1.40%	2.00%	2.70%	3.4% (H27~R2年の減少率)	3.4%未満 (H27~R2年の減少率)
実績値②	4.8% (H22~27年の減少率)	0.95% (H27.10から1年間)	1.51% (H27.10から2年間)	2.06% (H27.10から3年間)	2.59% (H27.10から4年間)		進捗状況
②/①		-	-	-	-		順調
進捗状況の分析	過去4年間のしまの人口の社会減は3,059人(累計)であり、平成27年10月の国勢調査確定値人口(118,165人)を基準とした人口減少率は2.59%($= (3,059人 / 118,165人) \times 100$)となり、最終目標の達成に向け順調に進捗している。これは、平成29年4月施行の有人国境離島法による施策や移住施策等の効果によるものである。						
政策横断プロジェクト	アジア・国際戦略						
数値目標	外国人延べ宿泊者数						
◆現在までの進捗状況							
	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		76.2万人	85.0万人	94.8万人	106.1万人	117.9万人	117.9万人 (R2年)
実績値②	61.2万人 (H26年)	84.0万人	88.6万人	93.0万人	79.1万人		進捗状況
②/①		110%	104%	98%	75%		やや遅れ
進捗状況の分析	令和元年の外国人延べ宿泊者数は、昨年7月以降の訪日旅行控えにより韓国人観光客が大幅に減少したことにより、目標を達成することができなかった。ただし、昨年1月から国際定期航空路線が就航した香港が前年比で94.0%の大幅増だったほか、夏に臨時便が運航された中国(前年比 +14.8%)やラグビーワールドカップの影響でイギリス(前年比 +50.0%)、オーストラリア(前年比 +35.4%)なども増加しており、韓国を除いた合計は前年比で18.1%の増だった。なお、本年については、新型コロナウイルス感染症の影響による各国の渡航制限や日本の入境規制が続いており、目標達成は厳しい状況となっている。						
数値目標	県産品の輸出額						
◆現在までの進捗状況							
	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		18.0億円	21.5億円	27.0億円	34.8億円	40.8億円	40.8億円 (R2年)
実績値②		24.4億円	29.3億円	44.3億円	42.7億円		進捗状況
②/①		135%	136%	164%	122%		順調
進捗状況の分析	新型コロナウイルス感染症の影響もあり実績ベースでは昨年度に及ばないものの、県産品の輸出拡大とブランド化に向け、関係機関と連携した商談会やフェアの開催、バイヤーの産地招聘等の取り組みの実施により、加工品、農畜産品・木材、水産物の輸出額は、目標値を超える水準で拡大しており、取組の成果が出ている。						

政策横断プロジェクト	ナガサキ・グリーンイノベーション戦略
数値目標	付加価値額を増加させた県内環境・エネルギー関連企業数(累計)

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		10社	20社	30社	40社	50社	50社 (R2年)
実績値②		17社	15社	29社	40社		進捗状況
②/①		170%	75%	96%	100%		順調
進捗状況の分析	<p>これまで、企業の個別支援を実施してきた結果、県内企業の付加価値の増加に寄与し、県内企業の新産業創出を促進した。今後は、再生可能エネルギーを活用したスマートコミュニティ等の分野における、大手企業と県内企業によるビジネスモデルを牽引役とし、当該モデルにおける県内個別企業の得意分野での参画を契機として新産業進出を促進する。</p>						

政策横断プロジェクト	世界文化遺産プロジェクト
数値目標	来訪者理解度

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		70%	75%	80%	85%	90%	90% (R2年度)
実績値②		—	—	95%	94%		進捗状況
②/①		—	—	118%	110%		順調
進捗状況の分析	<p>これまでの情報発信や広報の取組により、現地を訪れた方の価値の理解は一定程度得られているので、今後も訪問者の増加を促すよう、効果的・効率的な情報の発信に努め、価値の理解度を上げていく。</p>						

数値目標	観光消費額(宿泊客総額)
------	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		2,178億円	2,275億円	2,374億円	2,476億円	2,581億円	2,581億円 (R2年)
実績値②	1,933億円 (H26年)	2,020億円	2,068億円	2,124億円	算定中		進捗状況
②/①		93%	91%	89%	—		やや遅れ
進捗状況の分析	<p>実績値は現在算定中だが、訪日旅行控えにより韓国人宿泊客が減少したことに加えて、近年の宿泊客の消費単価の伸び悩みも影響すると考えられる。 (1人あたり宿泊客消費単価 H27年:31,966円、H28年:32,153円、H29年31,916円、H30年31,921円)</p>						

政策横断プロジェクト	新幹線プロジェクト
数値目標	アクションプランの策定

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	策定	—	—	—	策定 (H29年度)
実績値②	—	—	未策定	策定	—	—	進捗状況
②/①		—	—	—	—	—	達成
進捗状況の分析	<p>フリーゲージトレインの開発遅れ等により、対面乗換方式後の整備方式が不透明となったことから、平成29年度のアクションプランの策定は見送ったものの、2022年(令和4年)度の開業が迫っていることから、平成30年度にプランを策定した。今後はプランに基づき、開業に向けた気運醸成や県内周遊のための二次交通対策に取り組んでいく。</p>						

政策横断プロジェクト	魅力ある「ひと」「しごと」づくりによる定住促進プロジェクト
数値目標	県内大学生の県内就職率

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		49%	51%	53%	55%	55%	55% (R2年度)
実績値②	44.9% (H26)	43.2%	42.7%	41.0%	37.8%		進捗状況
②/①		88%	83%	77%	68%		遅れ
進捗状況の分析	<p>県内大学生の県内就職率は、前年度比3.2ポイント減の37.8%と3年連続の減少となり、目標(R1)である55%を大きく下回る厳しい結果となった。</p> <p>主な要因としては、大学等との連携やキャリアコーディネーターによる学生と企業の交流の場の確保や県内企業の認知度向上や魅力発信の充実に努めたものの、県内企業の魅力を県内外の学生に十分に伝えきれていないことや、保護者を含めた県内就職促進に関する県民意識の醸成が不十分であることに加えて、緩やかな景気拡大や人材確保難、売り手市場の拡大等が継続していることを背景都市部企業からの採用圧力が一層強まっていることなどから、引き続き県外企業へ流出しているものと思われる。</p> <p>最終目標の達成は大変厳しい状況となっているが、上記の現状における課題を踏まえた対策を講じることで、県内就職率の向上に向けて努力していく。</p>						

数値目標	県内高校生の県内就職率
------	-------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		62%	63%	64%	65%	65%	65% (R2年度)
実績値②	57.7% (H26)	63.0%	61.9%	61.1%	65.6%		進捗状況
②/①		101%	98%	95%	100%		順調
進捗状況の分析	<p>これまで継続してきた高卒求人への早期提出要請、高校等での企業説明会や企業見学会の実施、キャリアサポートスタッフや県内就職推進員による生徒へのきめ細かな就職支援に加えて、10月以降において企業の採用計画に対する人員不足の状況を調査し、未内定者とのマッチングを図ったことが奏功し、令和2年3月卒業生の県内就職率は、前年比4.5ポイント増の65.6%(速報値)と目標を上回る見込みとなっている。引き続き現在の取組を着実に推進することで、最終目標の達成を目指していく。</p>						

5 地域別計画に掲げる数値目標の進捗状況

県内 7 つの地域毎に、各地域のめざす姿として設定した数値目標の進捗状況は表 2 のとおりです。

(表 2)地域別計画の進捗状況(令和元年度)

長崎・西彼	数値目標	観光消費額						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		1,298億円	1,347億円	1,377億円	1,396億円	1,425億円	1,425億円 (R2)
	実績値②	1,230億円 (H26)	1,424億円	1,596億円	1,632億円	算定中		進捗状況
	②/①		109%	118%	118%	—		順調
	進捗状況の分析	平成30年は、台風25号の被害に伴う軍艦島の上陸停止、クルーズ客船入港数が減少があったが、リニューアルオープンした大型宿泊施設が堅調であり、世界文化遺産登録効果などから目標を達成できた。令和元年の実績値は算定中であるが、台風被害に伴う観光客の減や近年の宿泊客の消費単価の伸び悩みが影響すると考えられる。						
	数値目標	製造業従事者一人あたり付加価値額						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		—	—	—	—	1,672万円	1,672万円 (R2)
	実績値②	1,592万円 (H24)	1,522万円	1,645万円	算定中	—		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—	
進捗状況の分析	長崎・西彼地区では、基準値(平成24年)を下回っていたものが上昇してきている。長崎地区においては、はん用機械器具製造業等の上昇が大きい。							
数値目標	第1次産業新規就業者数							
	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標	
目標値①		62人/年 62人 (H28)	62人/年 124人 (H28-H29)	62人/年 186人 (H28-H30)	62人/年 248人 (H28-R1)	62人/年 310人 (H28-R2)	62人/年 310人 (H28-R2)	
実績値②	43人 (農林業:H22~H26平均) (水産業:H26)	50人	58人/年 108人	55人/年 163人	48人/年 211人		進捗状況	
②/①		80%	87% (累計)	87% (累計)	85% (累計)		やや遅れ	
進捗状況の分析	水産業については、移住相談会や国の就業支援フェア等での情報発信に加え、県主催の就業支援フェア開催による就業希望者と県内業者のマッチングの強化に取り組んだ結果、17人が新規に就業し、目標(17人)を達成した。一方、農林業については、新規就農相談センターによる情報発信等に取り組み、31人が新規就業したものの目標(45人)には届かなかった。							
県央	数値目標	製造業従事者一人あたり付加価値額						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		—	—	—	—	1,305万円	1,305万円 (R2)
	実績値②	1,243万円 (H24)	1,848万円	1,839万円	算定中	—		進捗状況
	②/①		—	—	—	—		—
	進捗状況の分析	県央地域の製造業従業者一人あたり付加価値額は、基準年(平成24年)以降低下した時期もあったが、平成27年から上昇に転じており、最新値である平成29年は前年を若干下回ったが最終目標値は大きく上回っている。電子部品等製造業が占める割合が大きい。						
	数値目標	観光客延べ数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		554.9万人	570.8万人	586.7万人	602.4万人	618.3万人	618.3万人 (R2)
	実績値②	562.2万人 (H26)	568.9万人	617.2万人	629.8万人	算定中		進捗状況
②/①		102%	108%	107%	—		順調	
進捗状況の分析	令和元年の実績値は算定中であるが、平成30年は、諫早市においてV・ファーレン長崎のJ1昇格による効果やイベント等による観光客延べ数が大幅に増加したことから、地域全体として前年を上回り目標を達成した。今後も引き続き地域資源を活用した賑わいの創出と情報発信に努め、さらなる観光振興に取り組んでいく。							

県央	数値目標	新規自営就農者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		48人/年 48人 (H28)	48人/年 96人 (H28-H29)	48人/年 144人 (H28-H30)	48人/年 192人 (H28-R1)	48人/年 240人 (H28-R2)	48人/年 240人 (H28-R2)
	実績値②	25人 (H22~26平均)	50人/年	57人/年 107人	50人/年 157人	48人/年 205人		進捗状況
	②/①		104%	111% (累計)	109% (累計)	106% (累計)		順調
	進捗状況の分析	市町、農協、農業高校、農業大学校及び新規就農相談センターと連携し、就農支援制度紹介等で就農意欲を喚起したほか、円滑な就農に向けて農業次世代人材投資資金の活用支援等、就農希望者へ技術習得支援や情報提供等を行ったことにより目標を達成した。引き続き、就農希望者への各種支援や情報提供により新たな担い手の確保に注力していく。						
島原	数値目標	農業所得1,000万円確保が可能となる規模に達成した経営体数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		153経営体	176経営体	199経営体	220経営体	240経営体	240経営体 (R2)
	実績値②	136経営体 (H26)	153経営体	180経営体	207経営体	234経営体		進捗状況
	②/①		100%	102%	104%	106%		順調
	進捗状況の分析	認定農業者の経営改善計画にて、現在農業所得600万円を達成し、1000万円以上を目指している経営体の抽出・リスト化を行い、各市担い手育成総合支援協議会と連携して、カウンセリングやコンサルティング等個別支援(補助事業や制度資金活用による規模拡大、品種更新による収量増や品質の向上、農地流動化、労力活用等)に取り組んだ結果、27経営体が新たに農業所得1000万円確保が可能となる規模となり、目標を達成することができた。						
島原	数値目標	新規自営就農者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		84人/年 84人 (H28)	84人/年 168人 (H28-H29)	84人/年 252人 (H28-H30)	84人/年 336人 (H28-R1)	84人/年 420人 (H28-R2)	84人/年 420人 (H28-R2)
	実績値②	67人 (H22~26平均)	80人	86人/年 166人	93人/年 259人	72人/年 331人		進捗状況
	②/①		95%	98% (累計)	102% (累計)	98% (累計)		やや遅れ
	進捗状況の分析	農業高校生等を対象に、就農ガイダンスの実施や、農業の魅力を発信する講座の開催並びに先進事例研修を行い、就農意欲を喚起した。さらに、新規就農相談センターや地域就農支援センターと連携した農業次世代人材投資資金の活用、経営計画作成、U・Iターン者を含む就農希望者への技術習得支援や就農情報提供等を行ったが、わずかながら目標には達しなかった。引き続き、就農希望者の情報把握に努めるとともに、受入団体登録制度を活用して研修を充実させ、新規自営就農者の確保に努める。						
島原	数値目標	延べ宿泊者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		108.2万人	109.9万人	111.6万人	113.3万人	115.2万人	115.2万人 (R2)
	実績値②	104.7万人 (H26)	94.3万人	92.7万人	88.8万人	算定中		進捗状況
	②/①		87%	84%	79%	—		遅れ
	進捗状況の分析	平成30年は、観光団体等において誘致活動やイベント、商品造成等を行っており、島原市のスポーツ合宿誘致や南島原市の民泊などが前年度を上回る実績をあげている取組もあったが、雲仙地区や小浜地区などの大型宿泊施設の閉館・休館の影響などにより目標値を下回った。令和元年の実績値は算定中であるが、大型施設における客室リニューアルに伴う受入減や国内団体客の減などの影響が考えられる。						
島原	数値目標	外国人延べ宿泊者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		2.7万人	3.1万人	3.4万人	3.7万人	4.1万人	4.1万人 (R2)
	実績値②	2.1万人 (H26)	4.7万人	4.2万人	4.5万人	算定中		進捗状況
	②/①		174%	135%	132%	—		順調
	進捗状況の分析	各観光団体等において、中国、台湾、香港及び韓国などへの誘客活動などを行っており、平成30年の島原半島の全延べ宿泊者数は平成29年に比べ減少している中、外国人延べ宿泊者数は前年より伸びている。令和元年の実績値は算定中であるが、韓国人宿泊客の訪日旅行控えが影響してくるものと考えられる。						

県北	数値目標	観光客延べ数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		1,309万人	1,342万人	1,376万人	1,409万人	1,442万人	1,442万人 (R2)
	実績値②	1,226万人 (H26)	1,237万人	1,278万人	1,305万人	算定中		進捗状況
	②/①		94%	95%	94%	—		やや遅れ
	進捗状況の分析	平成30年は、7、8月の多客期における猛暑の影響などによりハウステンボスの入場者数は伸び悩んだものの、クルーズ船客等の誘客効果や平成29年に台風の影響で中止となったアメリカンフェスティバルが開催されたことなどにより、対前年度より増加したものの目標の94%にとどまり、目標を達成するには至らなかった。令和元年の実績値は算定中であるが、大型施設の入場者数の減や韓国人観光客の訪日旅行控えなどの影響が考えられる。						
	数値目標	製造業従事者一人あたり付加価値額						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		—	—	—	—	1,215万円	1,215万円 (R2)
	実績値②	1,157万円 (H24)	901万円	773万円	算定中	—		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—	
進捗状況の分析	県北地域の製造業従事者一人あたり付加価値額は、基準年(H24)以降低下し、平成28年は初めて前年を大幅に上回ったものの、平成29年は基準年より下回った。 ※平成28、29年実績値については、工業統計において粗付加価値額が公表されていない小値賀町及び佐々町を除いた数値である。							
数値目標	第1次産業新規就業者数							
	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標	
目標値①		134人/年 134人 (H28)	134人/年 268人 (H28-H29)	134人/年 402人 (H28-H30)	134人/年 536人 (H28-R1)	134人/年 670人 (H28-R2)	134人/年 670人 (H28-R2)	
実績値②	68人 (農林業:H22~26平均) (水産業:H26)	144人/年	105人/年 249人	90人/年 339人	120人/年 459人		進捗状況	
②/①		107%	92% (累計)	84% (累計)	85% (累計)		やや遅れ	
進捗状況の分析	林業では、森の仕事ガイドス等の実施により、新規雇用者8人を確保し、4年連続で目標(7人)を達成した。農業では、就農希望者へは関係機関と連携した就農相談を、就農研修者へは円滑な経営開始を図るためにフォローアップ会を、農高生等へは就農意欲を喚起するために県北地区就農促進研修会を開催し、過去5年間の年平均と比べて11人多い新規就農者を得たが、新規学卒や県外からのターン就農がやや減り、令和元年度は実績55人と3年連続で目標達成(70人)に至らなかった。今後は就農候補者(農高生、農家子弟等)を把握し、就農意欲を喚起し、産地の生産部会等と連携して新規就農者の受入体制をさらに整備するとともに、就農希望者へは就農する地区の農業経営状況に即し、労力に無理のない就農計画の作成を支援する。 漁業では、実績が57人で目標(57人)を達成した。引き続き、研修生への漁業技術習得の支援、就業支援フェア等を通じた情報発信やマッチング活動に取り組むことで、新規就業者の確保を図りたい。							
五島	数値目標	延べ宿泊者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		24.0万人	24.7万人	25.3万人	26.1万人	26.8万人	26.8万人 (R2)
	実績値②	22.8万人 (H26)	22.7万人	24.3万人	26.2万人	算定中		進捗状況
	②/①		94%	98%	103%	—		順調
	進捗状況の分析	平成30年は、「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録の効果や、市町と連携した広域周遊促進、観光客受入環境整備等の取組により、目標を達成することができた。令和元年の実績値は算定中であるが、世界遺産登録に伴う旅行需要が堅調に推移しているものと考えている。						
	数値目標	第1次産業新規就業者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		43人/年	43人/年 86人 (H28-H29)	43人/年 129人 (H28-H31)	43人/年 172人 (H28-R1)	43人/年 215人 (H28-R2)	43人/年 215人 (H28-R2)
	実績値②	31人 (農林業:H22~26平均) (水産業:H26)	37人/年	40人/年 77人	57人/年 134人	54人/年 188人		進捗状況
②/①		86%	89% (累計)	103% (累計)	109% (累計)		順調	
進捗状況の分析	農業では、「農業次世代人材育成投資事業」等を活用し、新規就業者及び新規法人に対して説明会を行うとともに計画作成等の取組を市町と連携して推進した結果、9人を確保したが、目標(15人)には達しなかった。引き続き、就農希望者への各種支援や情報提供により新たな担い手の確保に注力していく。 林業では、「森林の守り人強化促進事業」等を活用して新規雇用者の資格取得等を支援したことにより、4人の新規雇用を確保し、目標(2人)を達成することができた。 水産業では、「次代を担う漁業後継者育成事業」等を活用し、情報発信・受け皿づくりや、研修等に取り組み、新規就業者が41人と順調に増加し、目標(26人)を達成することができた。							

吉 岐	数値目標	延べ宿泊者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		15.1万人	15.4万人	15.7万人	16.1万人	16.4万人	16.4万人 (R2)
	実績値②	14.0万人 (H26)	14.9万人	16.1万人	15.4万人	算定中		進捗状況
	②/①		98%	104%	98%	—		やや遅れ
	進捗状況の 分析	平成30年6月に「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」が、世界文化遺産に登録され脚光を浴び、吉岐市を訪問するツアー商品の売れ行きが伸び悩んだことなどから、延べ宿泊者数は、対前年比4.3%、0.7万人減となった。令和元年の実績値は算定中であるが、国内ツアー客の減少による影響が考えられる。						
	数値目標	集落営農組織の法人化数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		18組織	19組織	20組織	21組織	21組織	21組織 (R2)
	実績値②	2組織 (H26)	21組織	28組織	30組織	30組織		進捗状況
	②/①		116%	147%	150%	142%		順調
	進捗状況の 分析	集落単位で農作業の共同化や機械の共同利用を行う集落営農組織を支援するワンストップ窓口として、局、市、農協で構成する「吉岐市担い手サポートセンター」を平成29年に開所し、集落営農組織の法人化や法人化後の経営にかかる研修会の計画的な開催や、法人化の必要性、有用性について集落内の理解醸成と合意形成を図ったことから計画以上に法人化が進んだ。						
	数値目標	第1次産業新規就業者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		23人/年	23人/年 46人 (H28-H29)	23人/年 69人 (H28-H30)	23人/年 92人 (H28-R1)	23人/年 115人 (H28-R2)	23人/年 115人 (H28-R2)
	実績値②	20人 (農林業:H22~26平均) (水産業:H26)	21人/年	24人/年 45人	28人/年 73人	28人/年 101人		進捗状況
	②/①		91%	97% (累計)	105% (累計)	109% (累計)		順調
	進捗状況の 分析	農業では、振興局、市、農業委員会、農協による新規就農ネットワーク会議において相談者の情報や相談内容を共有し、それに応じた資金計画の作成や技術研修等、就農に向けた支援を行い、13人を確保した。(目標13人)水産業では、15人の新規就業者を確保することができた。(目標10人)なお、15人中13名が雇用型の新規就業者で、独立型の新規就業者は2名であった。						
	数値目標	あじさいネット閲覧施設数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		2施設	3施設	4施設	20施設	22施設	22施設 (R2)	
実績値②	0施設 (H26)	9施設	19施設	21施設	21施設		進捗状況	
②/①		450%	633%	525%	105%		順調	
進捗状況の 分析	ICT(あじさいネット)を活用した島内基幹病院と他病院や診療所、調剤薬局、訪問看護ステーションとの診療情報共有システムが充実している。今後は、介護との連携のため福祉施設等の加入を推進する。							

対馬	数値目標	観光消費額						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		109億円	114億円	118億円	124億円	122億円	122億円 (R2)
	実績値②	102億円 (H26)	120億円	131億円	145億円	算定中		進捗状況
	②/①		110%	114%	122%	—		順調
	進捗状況の 分析	韓国からの観光客は平成24年から大幅に増加し、平成28年は26万人、平成29年は35万人、平成30年は41万人となっている。これにより、島内での宿泊施設の建設や飲食店、免税店等の民間投資も活発に行われ、観光消費額も順調に推移してきた。一方で、令和元年7月以降、韓国人観光客が激減しており、島内の観光関連事業者に大きな影響が生じている。そのため、振興局では市と連携して「対馬観光のあり方検討会」を設置し、国内客の誘客等に取組んでいく。令和元年の実績値は算定中であるが、韓国人観光客の訪日旅行控えが影響すると思われる。						
	数値目標	輸出(水産物・木材等)						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		7,900トン	8,300トン	8,600トン	8,900トン	9,200トン	9,200トン (R2)
	実績値②	7,077トン (H25)	2,050トン	1,003トン	4,993トン	5,650トン		進捗状況
	②/①		25%	12%	58%	63%		遅れ
	進捗状況の 分析	木材については、貿易摩擦によるレート変動や新型コロナウイルスの影響を受けて輸出が低調で、実績5,650トンとなり、目標(8,352トン)を達成できなかった。 水産物については、直近実績(令和元年、0トン)は、前年実績(平成30年、10トン)と比較して大きく減少している。輸出業者の聞き取りによると、取引上のトラブル(通関時の検疫)による輸出意欲減退や輸出対象魚(ヌタウナギ)の漁獲減少がその理由として挙げられ、数値目標の進捗を図ることが困難で目標(548トン)を達成できなかった。						
	数値目標	第1次産業新規就業者数						
		基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
	目標値①		81人/年	81人/年 162人 (H28-H29)	81人/年 243人 (H28-H31)	81人/年 324人 (H28-R1)	81人/年 405人 (H28-R2)	81人/年 405人 (H28-R2)
実績値②	70人 (農林業:H22~H26平均) (水産業:H26)	97人/年	78人/年 175人	75人/年 250人	53人/年 303人		進捗状況	
②/①		119%	108% (累計)	102% (累計)	93% (累計)		やや遅れ	
進捗状況の 分析	水産業については、対馬における主要魚種であるスルメイカが、近年不漁により就業意欲が減退している影響もあり、新規就業者数は42人であったが、目標(61人)には達しなかった。 林業については、相当の人数が就業への関心があるものの、諸条件(賃金、休暇等)が折り合わない事で新規就業者は6人となり、目標(15人)には達しなかった。 農業については、就農希望者に対する相談活動や技術面等の支援により、5人の新規就業者を確保し、目標(5人)に達することができた。							
数値目標	特定健診受診率(市町村国保)							
	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標	
目標値①		—	—	—	—	65%	65% (R2)	
実績値②	33.9% (H25)	37.3%	38.3%	39.6%	42.9% (暫定値)		進捗状況	
②/①		—	—	—	—		—	
進捗状況の 分析	医師会等関係団体の委員が参加する「地域・職域連携推進協議会や作業部会」で健康課題や受診率向上のための取組みの検討や、「土曜の日」の関係者が集まる場での啓発を行った。また「健康経営宣言事業」を受診勧奨のツールとして活用し、関係機関等の協力を得て10事業所に事業実施した。特定健診を行う対馬市では、受診率向上推進員の雇用やケーブルTV等での情報発信、商工会と連携したPR活動等で特定健診の受診を進めた。さらに、新規受診者にアンケートを実施し受診動機の調査分析も行った。様々な取り組みにより受診率は増加しているが、さらに工夫した継続的な取り組みが必要である。							

6 今後の取組方針の検討等について

総合計画に掲げた各事業群の数値目標の進捗状況の詳細な要因分析や、令和3年度に向けた取組方針の検討等は、毎年度実施する「事業群評価」において公表予定にしております。

また、計画の最終年にあたる今年度は、計画の集大成として成果が求められるとともに、これまでの成果や課題等を踏まえた次期総合計画を策定する重要な年となります。

令和元年度の進捗状況としては、新型コロナウイルスや国際情勢の影響等により、目標を達成した指標の割合が前年度より低下しておりますが、危機意識を庁内で共有しながら、総合計画に掲げる施策をさらに推進し、最終目標の達成に向けて全力で取り組むとともに、次期計画においては、足らざる取組の追加・拡充を図ります。